

一般社団法人口カップジュニア・ジャパン 2024年度総会議事録

1. 日 時 : 2024年3月23日(土) 18:30~19:17

2. 場 所: 名古屋市国際展示場 交流センター 第3会議室

3. 出席者: 総社員数 30名

- (1) 出席者 29名(委任状提出者含む) 出席者のうち、理事10名、監事1名
大橋健、水野勝教、今井俊二、中島晃芳、島谷太、森重智年、野村泰朗、
松山森仁、政岡恵太朗、瀧本英智、田中宏明、松原仁、高橋忠、富永一利、
玉水亘、杉浦明仁、藤井晴基、山田吉孝、山野真一、栗田稔、丹羽尚子、竹
内龍一、武藤美和、名倉豊人、宮下充、原優人、伊藤寛子、佐藤碩恭、白山
太一
- (2) 欠席者 1名 後藤修平
- (3) 議事録作成者: 大橋健
4. 議題
1. 2023年度事業報告(案)、収支決算報告(案)
 2. 2024年度予算(案)
 3. その他
 4. 議事録署名人の選定

5. 資料

- 資料1-1. 2023年度事業報告書(案)
資料1-2. 2023年度収支決算報告(案)
資料2. 2024年度予算(案)
資料3. 2025年ジャパンオープン サッカーカテゴリーの分割・新設について

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①司会進行の水野理事より、定款第18条に規定する定足数を満たしたことを確認したのち、定款21条に基づき、議長の選出を求めたところ、正会員から大橋代表理事を推薦する提案があり、満場一致で大橋代表理事を議長に指名し、大橋代表理事はこれを承諾した。

(2) 2023年度事業報告(案)、収支決算報告(案)について

①島谷理事より、資料1-1、資料1-2に基づき2023年度事業報告、及び収支決算報告がなされ、満場一致で承認された。田中監事より、2023年度事業報告書、及び収支決算書を監査した結果、いずれも適正かつ正確であったとの報告がなされた。

(3) 2024年度予算(案)

①島谷理事より、資料2に基づき2024年度収支予算案について説明がなされた。本期はこれまで課題となっていた公式HPの改善のため、事業費内の予備費でフィールド改修費及び公式HP製作費等として1,000,000円を計上したとの説明がなされ、議場に諮られた。

・大橋代表理事より、Web参加者に対し配布していた資料のみ、修正前のものを送信していたが、会場出席者に配布された資料は正しいものである旨の説明がなされた。後日、Web参加者に予算資料のみ差し替えることとした。大橋代表理事より、議事2について議場に諮ったところ、満場一致で承認がなされた。

(4) その他

①松山理事より、資料3に基づき、現在のサッカーライトウェイトを2つのグループに分けて日本リーグライトウェイトを新設する提案がなされた。提案の背景として、サッカーWLのライトウェイトは数も多く、上位と下位の実力の差も著しい、また年齢層の高いチームが多いブロックではジャパンオープンへの出場も困難であり、NLからWLへ上がるのを断念し競技を辞めるチームもある。

NLにライトウェイトを新設することにより、不安があるチームはNLのライトウェイトへ、レベルが高いチームはWLのライトウェイトへチャレンジする選択肢ができる。これについては今後、Slackやブロック内で活発に議論をして頂きたく事前に告知をしたもので、皆さんフィードバックを受けた後、理事会に諮るため、決定事項ではないとの説明がなされた。

②大橋代表理事より、昨年の総会では、若手の選考への参加希望等で意見がなされ、規程や運営指針等で修正、整理しなければならない点があったことを確認し、この一年を取り組んできた。今後、さらに若手が活発的に運営に参加する組織へ移行したいとの抱負が述べられた。

③大橋代表理事より、正会員に対し質問や意見はないか求めた。

・宮下充氏より、以下3点の提案がなされた。

〈1〉レスキューシミュレーションでは予選会を行っていると認識しているが、エントリー方法として、予選会とブロックからの2パターンがあり、二重エントリーの可能性があるのではないか。世界大会ではCoSpaceは正式種目で無く、また予算も限られている中、ジャパンオープンで競技を行う意義はあるのか。

〈2〉ジャパンオープン参加スタッフの旅費増額を希望する。

〈3〉公式HPの見直しについて反対ではないが、新しいHPでは各ブロックのHP、問合せ先の明確化、ノードエントリーの集約、二重エントリーの改善を含めて見直すことを希望する。

・提案1に対し、レスキュー担当の森重理事より、レスキューシミュレーションでは、ブロックから推薦する場合と、ブロック大会が開催できない時に予選会を実施する場合があり、ルールが明確化されていないので、今後改善する必要があるとの回答がなされた。ジャパンオープンは世界大会の選抜が目的ではあるが、シミュレーションは中国を始め世界的には競技人口は多い。国内の競技人口が少ないので事実であり、意見を集約し検討したいとの意見がなされた。

・提案2に対し、島谷理事より、他の収益事業があがれば検討できるが、RCJJは収益を上げることよりも健全な経営を第一に考えている。HPについては、構成や写真、デザイン等コンテンツの充実を図りたい。また、理事会でもブロックのHPについては同様の意見が出ており、出来るとこから始めたいとの意見がなされた。

・水野専務理事より、ノードエントリーの集約について、これまで理事会で議論はされているが、ノードの生い立ちが様々であり、統一が難しい。大会の開催時期や、ロボット体験会からのノード大会参加、塾、学校等、ノードの成り立ちは様々である。連絡がとれないブロックもあるため、今後ブロックからの協力が得られれば、HPの改善に合わせて、見直したいとの回答がなされた。これに対して宮下氏より、各ノードの生い立ちの違い、連絡がつかないブロックがあるからこそ、統一すべきではないか。写真やデザイン等の見た目が良いHPより、機能性があるHPにして欲しいとの要望がなされた。野村理事より、統一感のあるHPを作成し参加者を増やすことも大事だが、ノードや地域にあった参加しやすい環境を整え、競技の裾野を広げていくことも大切であるとの意見がなされた。中島理事より、閉鎖するブロックも出てきており、その地域の子供達は競技へ参加する機会が失われており、今後どうやって環境を整えるかも検討する必要があるとの意見がなされた。

(5) 議事録署名人について

①閉会にあたって議長から、本日の議事録署名人として、山田吉孝氏、及び野村泰朗氏にお願いすることになった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

議長 大橋 健



議事録署名人 山田 吉孝



同 野村 泰朗

